

第3学年 社会科 1年間の学習と評価について

春日部市立春日部中学校

1. 学習目標

【1学年】

(地理) それぞれの写真について知っていることをノートに書き出し、地図帳の索引を引いたり、白地図に書き込んだりするなど、地名知識を身につける手法に触れることができる。

(歴史) 中学校の歴史学習の導入として、歴史に対する興味・関心や歴史を学ぶ意欲を高めることができる。

【2学年】

(地理) さまざまな地域から成り立っている日本や世界の諸地域を、比較し関連づけて考えながら、それらの地域が相互に関係しあっていることや各地域の特殊性や共通性があることを理解することができる。

(歴史) 近世から明治時代にかけて日本の近代化の流れをつかみ、日本の文化について、理解することができる。

【3学年】

(歴史) 二度の世界大戦による厳しい戦時下の生活から現在の日本を比較して、国民としての自覚を持つことができる。

(公民) 日本国憲法の基本的原則を具体的な生活とのかかわりからとらえさせ、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として認識することができる。

経済が社会生活と密接なかかわりを持ち、人間生活の維持・向上にとって欠かせないものであるといった経済活動の意義を身近な消費生活を通して理解することができる。

2. 年間の授業計画と学習のねらい

学年	学習内容	学習のねらい
1 学期	【歴史】 ・開国と近代日本の歩み ・二度の世界大戦と日本 ・現代の日本と私たち 【公民】 ・現代社会と私たち	・第二次世界大戦後の日本の民主化と再建、国際社会への復帰について学ぶ。 ・高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて学ぶ。 ・さまざまな方法で課題を学習する中で、調べ方や学び方を身につけていく。
2 学期	【公民】 ・個人の尊重と日本国憲法 ・現代の民主政治と社会 ・わたしたちの暮らしと経済	・日本国憲法の三原則を理解し、自分たちの生活と憲法との関係への関心を持つ。 ・政治は、人々の願いを実現し、よりよい社会をつくるために行われるものであることを理解する。 ・作業的な学習などを通じ議会制民主主義の意義、選挙の課題や株価が変動する原因について、具体的場面で考える。 ・合併を含めた「地域づくり」の意義と重要性について、今どんな政治の課題に関心を持ち、今後自分がどのように地域社会や政治にかかわっていくかについて、文章にまとめる。 ・実際の消費活動を通して、消費者が商品やサービスを購入する際、おのずと選択の原理がはたらいっていることに気づく。
3 学期	【公民】 ・地球社会とわたしたち ・よりよい社会をめざして	・地球環境問題に対して日常生活のなかで取り組めることがらについて、意見発表や話し合いなどを通して考える。 ・国連のしくみや活動については、総会、安全保障理事会、ユネスコ、ユニセフなどの具体的な活動を取り上げるなかで関心を高める。 ・3年間の社会科のまとめのレポートを自分の言葉で作成する。

3. 評価の観点と方法

《主体的に社会的事象についての学習に取り組む態度》

◇積極的に発表したり、意欲的に授業に取り組んでいるか。世の中の動きに関心を持っているか。ノートやワークなどの提出状況などをみていきます。また場合によっては、テストにてこの観点の出題をすることがあります（最近の時事など）。

《社会的な思考力・判断力・表現力》

◇なぜそうなるのか、どのようなことが考えられるのかなど、社会のことについて、さまざまな視点から考えることができるか。ノートの内容などをみていきます。また、テストにてこの観点の出題をします。

《社会的事象についての知識・資料活用の技能》

◇地図やグラフ、歴史資料、新聞など資料の読み取りができるか。新聞やレポートなどのまとめ方や発表のやり方はどうかなどをみていきます。また、テストにてこの観点の出題をします。

◇小テストや中間・期末テストにて判断します。この観点の出題をテストでは多くします。